

コロナ禍長期化に備え

愛知県議会議員

ひだつねとし
飛田 常年

新春のお慶びを申し上げます

昨年は新型コロナウイルス感染症に世界中が震撼させられた年でした。今年に入っても収束が見えないなか、とくに医療関係の皆様には、最前線で戦っておられ敬意と感謝を申し上げます。



愛知県としては新型コロナウイルス感染症対策予算として県民の皆様のために感染拡大防止や医療面での対策、県民生活への対策、経済対策費に昨年の2月から今年1月補正予算までに9回の3,445億円、外に債務負担行為1,201億円の合計4,646億円もの補正予算を組み、対応をさせて頂いています。

県民の皆様も3密を避け、マスク、手洗い、うがい等、個々に予防対策を立てご協力をお願いします。

また、自然災害も非常に心配であります。いつ起きるか分からない南海トラフ巨大地震・大型台風・ゲリラ豪雨等、備えだけはしっかりお願いします。

社会資本整備では蒲郡地区において、国道23号蒲郡バイパスの早期全線開通、(都)大塚金野線の事業化、国道247号中央バイパス及び鹿島バイパスの4車線化へ、また三河港蒲郡地区11号岸壁及びふ頭用地の整備等、引き続き国・県へ要望してまいります。

本年も鈴木市長・商工会議所・今枝代議士・自由民主党蒲郡市議団の皆さんと一緒に、県民・市民の生活と命を守るためにしっかりと働かせていただきます。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束して、経済が復活し、通常の生活にもどることをご祈念いたします。